

▼ 活発な意見交換が行われたパネルディスカッション



社会知性開発研究センター／社会関係資本研究センター(原田博夫代表・経済学研究科長)主催の国際カンファレンス「東アジアの社会関係資本を探る」が7月27日、神戸キャンパスで開催された。写真。研究者、学生ら約70人が出席。

「社会貢献が重要」「企業は人なり」 小田急電鉄会長が「まとめの講義」

経済学部寄付講座に300人

小田急電鉄株式会社寄付講座「地域と共生する小田急グループのCSRと事業戦略」(徳田賢二経済学部教授・全15回のまとめとなる講義が7月16日、生田キャンパスで行われ、同社の大須賀頼彦会長が登壇した。大須賀会長は300人の学生を前に1時間半、地域とともに発展をしてきた「小田急グループ」の経営理念について語った。写真。



本講座は、経済学部特設の講義を聞き、同社のCSR(社会的責任)の実践的取り組みから企業経営と地域社会とのかかわりの第一線で働く方々

の講義を聞き、同社のCSR(社会的責任)の実践的取り組みから企業経営と地域社会とのかかわりの第一線で働く方々

の講義を聞き、同社のCSR(社会的責任)の実践的取り組みから企業経営と地域社会とのかかわりの第一線で働く方々

り学ぶ。経済学部にとどまらず他学部の学生も多数受講した。大須賀会長は、前身の「小田原急行鉄道」(1923年創立)に始まる小田急電鉄の歴史を概説した後、経営の多角化を進めている日本の私鉄ビジネスの特徴について語った。

現在、新宿を起点に小田原、江ノ島、多摩ニュータウンを結ぶ3路線・計120・5kmを形成する小田急電鉄も鉄道事業のほか、沿線宅地開発をはじめとする不動産、バス、小売、旅行、レジャー、サービスなど多分野に事業を展開しており、「小田急グループ」は100社を超える。

大須賀会長は、多面的な事業活動の展開で沿線の発展に貢献していくことが「小田急グループ」のCSRであると位置づけ

「沿線エリアの魅力向上にさらに努めたい。企業は業績を上げるだけでなく、社会に貢献しなければ存在価値がない」と同社の姿勢を語った。

また「お客様のニーズや満足を得るには従業員の育成がポイント。仕事を通じて自己実現を目指すように従業員を育てていくことが私の役目と認識している」とし、「企業は人なり」と人材の重要性を強調した。

講義を聞いた徳田ゼミ生は「与えられた仕事を全力を尽くせ。それが自己のレベルアップにつながる」というメッセージは、就職活動を経て社会に出る私たちにへの激励になった(平田茜さん・3年次)▽沿線に特化して事業を展開している姿に小田急の企業経営理念を感じた。生田キャンパスの近くで、かつて大

人気があったというレジャー

「沿線エリアの魅力向上にさらに努めたい。企業は業績を上げるだけでなく、社会に貢献しなければ存在価値がない」と同社の姿勢を語った。

「沿線エリアの魅力向上にさらに努めたい。企業は業績を上げるだけでなく、社会に貢献しなければ存在価値がない」と同社の姿勢を語った。

また「お客様のニーズや満足を得るには従業員の育成がポイント。仕事を通じて自己実現を目指すように従業員を育てていくことが私の役目と認識している」とし、「企業は人なり」と人材の重要性を強調した。

講義を聞いた徳田ゼミ生は「与えられた仕事を全力を尽くせ。それが自己のレベルアップにつながる」というメッセージは、就職活動を経て社会に出る私たちにへの激励になった(平田茜さん・3年次)▽沿線に特化して事業を展開している姿に小田急の企業経営理念を感じた。生田キャンパスの近くで、かつて大

人気があったというレジャー

「沿線エリアの魅力向上にさらに努めたい。企業は業績を上げるだけでなく、社会に貢献しなければ存在価値がない」と同社の姿勢を語った。

また「お客様のニーズや満足を得るには従業員の育成がポイント。仕事を通じて自己実現を目指すように従業員を育てていくことが私の役目と認識している」とし、「企業は人なり」と人材の重要性を強調した。

講義を聞いた徳田ゼミ生は「与えられた仕事を全力を尽くせ。それが自己のレベルアップにつながる」というメッセージは、就職活動を経て社会に出る私たちにへの激励になった(平田茜さん・3年次)▽沿線に特化して事業を展開している姿に小田急の企業経営理念を感じた。生田キャンパスの近くで、かつて大

海外6カ国・地域の研究者が報告

社会知性開発研究センター／社会関係資本研究センター「東アジアの社会関係資本を探る」

海外6カ国・地域(ベトナム、ラオス、韓国、中国、台湾、タイ)の研究者が、現地で実施した社会関係資本に関するアンケート調査・聞き取り調査の結果と考察を報告した。

同センターは文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「持続的発展に向けた社会関係資本(SOI)

シャル・キャピタル)の多様な構築・東アジアのコミュニティ、セキユリティ、市民文化の観点から「5年計画」で取り組み、国内での調査に加え、東アジア7カ国・地域(上記6カ国+カンボジア)でも調査を実施。今回は調査に協力した各地域の代表団を招いた。はじめに原田代表がブ

ロジェクトの概要と日本(東京都新宿区)での調査結果を報告。「東日本大震災以降、研究に新たな側面が生まれた。新宿区の調査でも防災意識の変化が見られた」と話し

続いて各地域の代表団による報告と、同センターの研究者5人による解析が行われた。この日のまとめとして

「東日本大震災以降、研究に新たな側面が生まれた。新宿区の調査でも防災意識の変化が見られた」と話し

続いて各地域の代表団による報告と、同センターの研究者5人による解析が行われた。この日のまとめとして

この日のまとめとして

万代一橋大学教授が講演

中小企業の会計基準
公開講演会



講演後、熱心な質問も飛んだ

会計学研究所(所長 日、生田キャンパスで行われ、一橋大学情報基盤センター長の万代勝信同

大商学研究所教授が320人の学生、院生を前に「中小企業の会計基準」と題して講演した。

中小企業向けの会計ルールには、2005年公表の「中小企業の会計に関する指針」(指針)と昨年2月公表の「中小企業の会計に関する要領」(要領)の二通りあり、現状ではどちらを使用してもいい。

金融庁の企業会計審議会企画調整部会の臨時委員を務め、「要領」と

「要領」と題して講演した。

「中小企業の会計に関する指針」(指針)と昨年2月公表の「中小企業の会計に関する要領」(要領)の二通りあり、現状ではどちらを使用してもいい。

金融庁の企業会計審議会企画調整部会の臨時委員を務め、「要領」と

「要領」と題して講演した。

「要領」と題して講演した。

新しい本



小藤康夫著

米国の学が私立大学の経営システムと資産運用

今日の私立大学は競争が激化する中で、授業料収入だけで大学経営を支えるのが将来的に難しくなりつつある。そのため、主要私立大学では授業料収入の補完手段として資産運用に取り組んでいる。だが、リーマン・ショックの影響をもちに

損失を抱えてしまった。一方、米国の大学では資産運用が重要な業務として位置づけられ、完全な運用体制のもとで長期にわたって高利回りを生み出している。しかも運用収益は大学予算でかなりの割合を占めている。本書では米国の大学で展開する高度な資産運用業務を紹介しながら、なぜ日本の大学で全く対照的な運用成果が生じるのかを探っている。(八千代出版 本体2400円+税)著者(小藤康夫)は元経済学部教授、石巻専修大学名誉教授。7月13日、84歳で死去。1957年から在職。89年石巻専修大学教授、99年定年退職。担当は英語。

公開講座情報

専修大学社会知性開発研究センター／心理科学研究センター国際シンポジウム「Development and current situations of Cognitive Behavioral Therapy for children and/or persons with disabilities」障がい児・者への認知行動療法基礎研究から応用実践へその発展と今」▽日時 8月31日(土)13時30分▽場所 神田キャンパス731教室▽基調講演 JENNIFER COOPER 女史(オーストリア) 編集主幹を務めた。11月10日(日)16時から、東京都千代田区有楽町2の5の1、有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11階)で「徳吉会」を開く。問い合わせは03・3265・5879(大学史料課)。

討報



青木美智男氏(あおきみちお) 元文学部教授 7月11日、76歳で死去。1997年から在職。2007年定年退職。専門は日本近世社会史。07年から専修大学史編集主幹を務めた。11月10日(日)16時から、東京都千代田区有楽町2の5の1、有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11階)で「徳吉会」を開く。問い合わせは03・3265・5879(大学史料課)。



榎本良吉氏(えのもとりょうきち) 専修大学元経済学部教授、石巻専修大学名誉教授。7月13日、84歳で死去。1957年から在職。89年石巻専修大学教授、99年定年退職。担当は英語。